

「立ち上がる農山漁村」選定案概要書

取組分野：【女性・若者の力】

1. 都道府県、市町村 佐賀県^{からつし}唐津市
2. 事業者名 鮎の里
3. 取組みの名称 女性起業による地域農産物の加工・販売
4. 取組概要等

概要

「鮎の里」には、唐津・東松浦地域の生産者が育てた新鮮な農産物をはじめ、花卉・漬物や味噌・手づくり饅頭・お茶など多岐にわたった品目が出荷されている。生産者の登録は400名で、休日には100名の生産者が自分の畑で採れた新鮮な農産物を出荷販売している。新鮮で安心、そして美味しい野菜を買い求める佐賀市や福岡方面からの家族連れでにぎわう。

「鮎の里」では、「地球にやさしく、体にやさしい」をテーマに活動している。

品物売るだけでなく、美味しい料理法を提供したり、利用者とのコミュニケーションづくりなど人と人とのつながりを持てるようにと、飲食店の経営も手がけるようになった。毎日、生産者が出荷した新鮮な農産物を使った料理が自慢である。七山村の郷土料理の中から今では若い人が作らなくなった料理をメニュー化したり、お菓子づくりは徹底して無添加にこだわり、旬の食材を使い、季節や自然を満喫してもらえるように、手をかけ心を込めて料理やお菓子を作るように心がけている。

以前には、七山小学校が金銭教育実践校の指定を受けたのをきっかけにゆとりの時間を利用した学級農園の取り組みを応援していた。有機・無農薬野菜の栽培を指導し、収穫した野菜は、「鮎の里」の小学校コーナーを設けて販売したり、スーパーに販売してある野菜と味の比較をしたり、家庭科の時間に収穫した野菜を使った調理実習をして、**七山の野菜の美味しさや作物を育てる喜び、収穫する喜びを体験させるなど次世代への環境保全型農業の継承も実行していた。**

また、会の代表である徳田氏は、空気や水がきれいで生物や植物が豊富なこの村の自然を保全しようと、「川を守る会」を設立し、親子で学習会を開催している。小学校教師、保護者で作る「語ろう会」は、鮎の里が率先して定期的に学習会を開き、七山の自然の中で育つ子供達ならではの知恵と感性を育てていこうと取り組んでいる。

活動の規模

項目	H14	H15	H16	H17	H18
売り上げ				約1億	約1億
解説	単位：円 直売所、食堂の総売上げ				
イベント回数				4	4
解説	単位：回 鮎の里独自のイベント				

活用している地域資源

旧七山村は、その名が示すとおり、周囲を七つの山で囲まれており、観音の滝や檜原湿原等の自然景観が多数存在する。

これらの自然景観を主体に継続的に開催してきた「七山産業祭り」、「国際溪流滝登り大会」、「観音の滝ニジマス釣り大会」等のイベントや滞在型施設「ロフティ七山」、観光農園付き宿泊施設「おいでな菜園」、「なののゆ」等の施設があり、年間60万人を超える観光客がある。

「鮎の里」はそれらの行事等にも合わせてイベントを組んでいる。

地域活性化のポイント

鮎の里は組織形態としては法人組織で、志を同じくする農家が出資して設立した会社であり、会員農家との連携のもとに運営され、地域の農産物の販路拡大等により地域農業の振興に寄与している。

加工の原材料は、「鮎の里」に出荷される地元の新鮮なものを使用しており、お米は、七山産コシヒカリ、手づくりケーキは会員農家の地鶏卵。季節ごとに出荷される果樹を活用した手づくり菓子が販売されている。

七山村の特産品である「梅」を用いた新たな加工品として、減塩梅干し、梅ドレッシングなどの商品開発に取り組んでいる。**技術改良の取り組みは、七山村南高梅部会と連携しており、他の農産加工者への波及効果も大きく、七山村全域での農産加工の拡大による農産物の高付加価値化や地域農業の活性化に寄与している。**

事業の今後の展開方向

「鮎の里」で行っている、農産物の販売、食堂を通じ、地域の農産物の販路拡大、農産物加工の拡大による農産物の高付加価値や地域農業の振興、活性化に繋げていきたい。

また、若い女性生産者とグループを作り、新しい品種の栽培等について話し合いを行い、その作物を食堂部門の新たなメニューに取り入れれたり、調理方法を添付した農産物の販売等に取り組むこととしている。

また、他の女性起業グループと積極的な交流を行い、ネットワークを広げながら、さらに、地域住民や学校等と連携し、地域の子供達への食育活動や自然保護活動にも積極的に取り組んでいくこととしている。

